

仰げば尊し わが師の恩／教えの庭にも はや いくとせ／おもえば いと疾し このとし月／いまこそ 別れめ いざさらば
／互いに むつみし 日ごろの恩／わかるる後にも やよ 忘るな／身をたて 名をあげ やよはげめよ／いまこそ 別れめ
いざさらば／朝夕 慣れにし 学びの窓／蛍のともし火 つむ白雪／忘るる まぞなき ゆくとし月／いまこそ 別れめ いざ
さらば (卒業式第二部 卒業生から送る歌『仰げば尊し』)

（旅立ちのとき）

3月15日(火)に、平塚中等教育学校第2回卒業証書授与式が挙行された。大原高校と併置され、中高一貫校としてスタートして2年目に入学した生徒たちが、自覚と決意を新たに、それぞれの道に大きく羽ばたく時が来た。これもひとえに、創立準備段階から学校づくりにご尽力された関係の皆様、大原高校の関係の皆様、地域の皆様並びに、県教育委員会の皆様のご支援の賜と感謝申し上げたい。



在校生代表の言葉 梅澤真さん。(一部抜粋)

思い起こせば5年前の対面式から、後輩たちの先頭に立ち、良きリーダー、良き先輩として牽引していただきました。部活動では、熱い心、仲間を思いやる心、あきらめずに最後まで突き進む強い心を教えてくれました。学校行事ではいつも新たなことに挑戦し、「一生懸命になることの楽しさ」を教えてくださいました。覚えていますか。まだ3学年しか揃っていなかった頃、始まったばかりのこの学校を、真っ白なキャンパスに見立てて、これから一人ひとりの個性豊かな色で「虹色のキャンパス」にしていこうという(生徒会)スローガンを決めた日のことを。あれから5年という歳月が過ぎ去った今、この平塚中等はこんなにも色鮮やかな学校になりました。この学校は、先輩方の青春のすべてです。



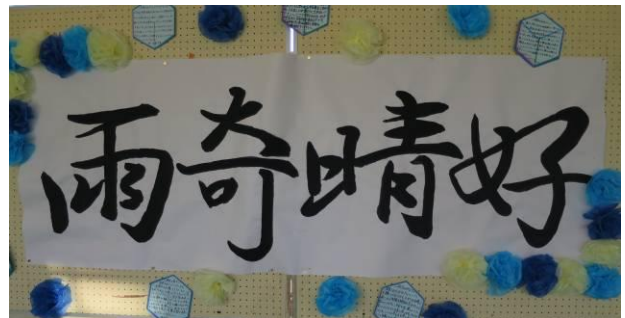
卒業生代表の言葉 窪田海人さん。(一部抜粋)

私たちの6年間を彩ったものの中で、一番の思い出は翠

星祭。今ではグラウンドを埋め尽くすほどの人が集まる翠星祭(体育部門)ですが、私たちが1年生の頃には「運動会」という名前で2つの学年しかおらず、グラウンドが広く感じられたことを覚えています。…感情と状況が激流のように変化する中で、それでも変わらないその人の「軸」が見つけられるところが、この学校の行事の素晴らしいところだと思います。…去年この場で、いつでも帰ってきてくださいと言って1期生の先輩方を送り出しました。私たちもこの場所に帰って来ていいですか？この学校の外で初めて見つけたことを、知ったことを、すべてを後輩の皆さんに伝えていきます。いつまでもこの学校を見守っていきます。…勇気と自分の信じ方を教えてもらった、最高の日々でした。最高の青春でした。



2期生から贈られた卒業記念品の校章板が、職員玄関の入口に据え付けられた。これから50年、100年と、永久の輝きを放ち続けるだろう。



晴雨ともに景色のよいこと。一喜一憂の成功失敗があっても、右往左往があっても、くよくよするなよ先輩！（生徒会執行部が心を込めたメッセージ）

平塚中等 校長 鈴木 靖